

**地域におけるチャレンジ・ネットワーク環境整備推進事業
事業計画書**

都道府県 埼玉 県

<p>1. 事業の全体像</p>	<p>(事業名) 彩の国女性チャレンジ支援事業 (ネットワーク等全体像) 別添資料 1 ~ 2 ページ参照 (ネットワーク参加機関) 別添資料 3 ページ参照 (年間スケジュール) 別添資料 4 ページ参照</p>
<p>2. 事業内容及び 事業計画の概要</p>	<p>(1) 事業内容 (事業が複数になる場合は、事業毎に から を記入してください。)</p> <p>ア. 事業名 女性団体活動の支援 (別添資料 5 ページ参照) 目標 運営組織 その他</p> <p>イ. 事業名 女性の政策能力活用事業 (別添資料 5 ページ参照) 目標 運営組織 その他</p> <p>ウ. 事業名 地域連絡協議会の設置 (別添資料 6 ページ参照) 目標 運営組織 その他</p> <p>エ. 事業名 女性のチャレンジ・リーダー養成 目標 (別添資料 6 ページ参照) 運営組織 その他</p> <p>オ. 事業名 「チャレンジ・ネットワーク」構築のための IT 環境整備 目標 (別添資料 6 ページ参照) 運営組織 その他</p> <p>オ. 事業名 彩の国チャレンジ支援事業 報告書制作 目標 (別添資料 6 ページ参照) 運営組織 その他</p>

	<p>(2) 今後の課題</p> <p>平成 1 6 年度には、埼玉県予算においても、予算要求を行ったが、県全体で予算削減の折、要求額を認めてもらうことができなかった。</p> <p>男女共同参画局関係委嘱事業が単年度限りとなると、平成 1 7 年度以降、彩の国女性チャレンジ支援事業を継続することが困難になる可能性もある。</p> <p>(3) その他</p>
3 . 備考	<p>< 参考資料 ></p> <p>グループ・団体等からの公募事業について</p> <p>(別添資料 7 ~ 8 ページ参照)</p>
4 . 担当部課等	<p>(所在地) 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3 - 1 5 - 1</p> <p>(部課名) 埼玉県総務部男女共同参画課</p> <p>(担当者) 山田勇、矢嶋直美</p>

注) 1 分量は、A 4 版 2 枚程度でお願いします。

2 参考資料があれば添付してください。

ネットワーク等全体像

1 現状

地域において活動しようとする女性を支援する様々な関係機関、女性団体・民間団体が、それぞれ多様サービスを提供しているが、体系的に整理されておらず、必ずしもチャレンジしたい女性のニーズに応じた情報がゆきわたっているとは言えない。

2 目的

女性がチャレンジしたい時に、容易に必要な支援策の情報が得られるよう、支援機関、女性団体・民間団体の資源が総合的かつ有効に活用され、利用者の立場に立った支援策の提供を目指し、女性のチャレンジ支援を推進する地域ネットワーク構築する。

3 内容

With You さいたまを拠点に、雇用や福祉、産業など複数のチャレンジ支援関連機関、女性団体・民間団体等で構成される女性チャレンジ支援地域連絡協議会を設置し、各種チャレンジ支援事業の企画・立案及びその実践を行う。

4 女性チャレンジ支援地域連絡協議会のあり方

(1) With You さいたまのこれまでの主な連携の取組

(市町村)

- ・市町村男女共同参画担当者(研修事業)

(関連機関)

- ・21世紀職業財団、埼玉大学、埼玉学園大学(共催事業)
- ・埼玉県男女共同参画関連施設(連絡会議)
- ・文京学院大学、埼玉大学(調査研究)

(女性団体・民間団体等)

- ・あれあれあ、草の根ネットの会、女性と仕事を考えるにこぼむの会「おんなのからだ自立教室調査隊」(調査研究)
- ・ワークショップ参加団体(60団体)
- ・With You さいたま登録団体
- ・サポートスタッフ
- (学識者・実務家)
- ・男女共同参画審議会委員
- ・女性起業家

(2) 今後の方法

地域連絡協議会

女性のチャレンジを支援する関連機関、女性団体・民間団体、学識者、実務家など（表1）の中から20名～30人をメンバーに組織し、チャレンジ事業を総合的に支援する。役割としては、各事業のプロジェクトチームの立ち上げに関与する。

協議会発足前に準備会（5名程度）を発足する。準備会メンバーからは、3月中に意見聴取をする。準備会メンバーを中心に公募事業の審査を行い、地域連絡協議会の核となってもらう。

プロジェクトチーム・アドバイザー（メンター）による事業展開

事業ごとにプロジェクトチームを立ち上げ、事業実施団体とともに、関連機関、実務家と連携しながら事業の企画・運営・実施のための支援体制をつくる。

女性チャレンジ支援事業（共催事業）、女性チャレンジ情報提供事業（イベントカレンダー作成）のうち事業内容によっては、プロジェクトチームのメンバーから、相談役としてアドバイザー（メンター）をお願いし、事業実施団体の事業の企画・運営・実施のサポートをしてもらう。

～平成16年度 プロジェクトチーム 予定～

（公募事業）・女性チャレンジ支援事業（委託事業・共催事業）

・女性チャレンジ・リーダー養成事業

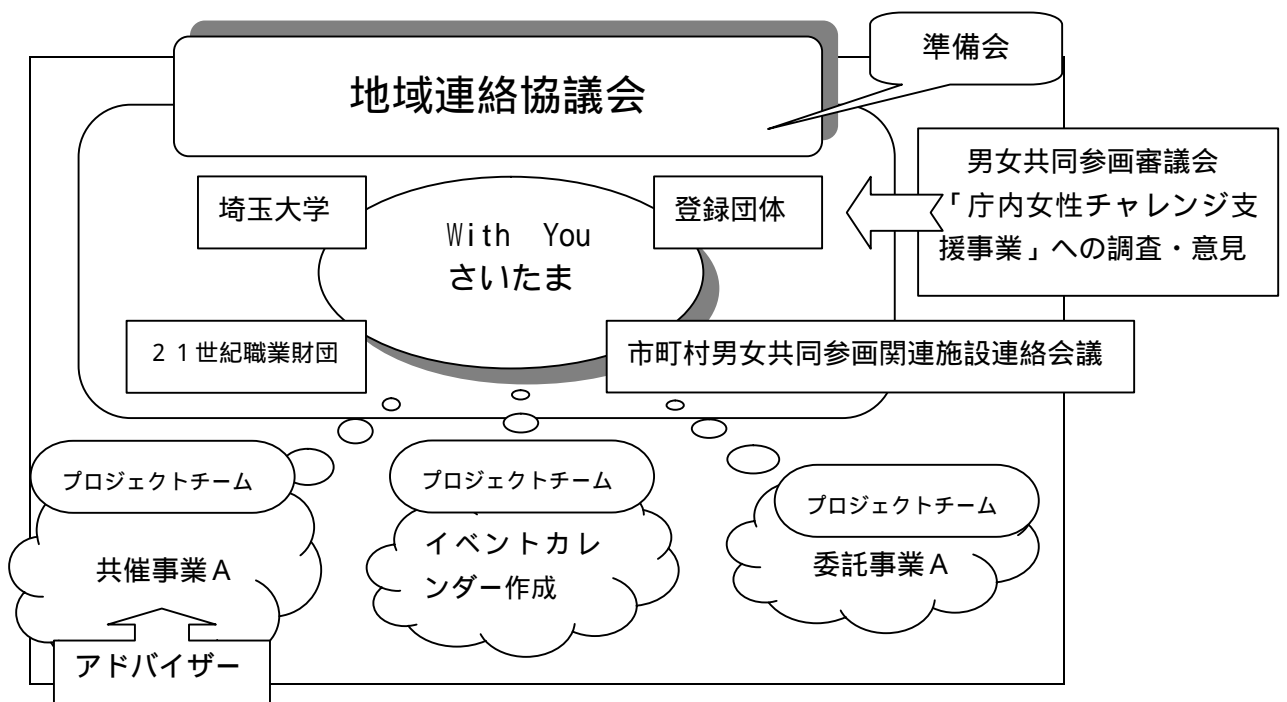
（広報事業）・女性チャレンジ情報提供事業（イベントカレンダー作成）

市町村男女共同参画関連施設連絡会議（県単独事業）

県の取り組みの周知、市町村男女共同参画関連施設における取組を促す。

男女共同参画審議会「庁内チャレンジ事業」への調査・意見（県単独事業）

男女共同参画推進条例第10条第2号に基づき、庁内における女性のチャレンジ支援に役立つ事業を調査し、男女共同参画審議会から今後の事業展開に対する意見を述べる。



(表1)

ネットワーク参加機関

協議会に想定される県内関連機関、女性団体・民間団体等(太字はすでに連携)

分野	
男女共同参画 全般	機 関：男女共同参画関連施設、市町村担当課、国立女性教育会館 個 人：男女共同参画審議会委員、第1期・第2期公募委員、 With You さいたま登録団体、サポートスタッフ、 男女共同参画アドバイザー
雇用・起業	県：労働部局(本庁関連課、労働商工センター、就職支援プラザ、 職業能力開発センター、高等技術専門校、彩の国ビジュアルプ ラザ、ベンチャー支援室)、農業大学校 機 関：母子寡婦福祉連合会、福祉研修・人材センター、 ナースセンター、 県内大学(埼玉大学、埼玉学園大学、文京学院大学) 国：雇用均等室、ハローワーク、パートバンク・パートサテライト、 人材銀行、学生職業情報センター、21世紀職業財団 その他：(社)経営者協会、連合埼玉 個 人：税理士、中小企業診断士など
地域参加 国際貢献等	県：関連部局(本庁関連課、県民活動総合センター)、 機 関：社会福祉協議会ボランティアセンター、 NPO・ボランティア相談コーナー、国際交流県民プラザ、 高齢者いきがい支援センター、シルバー人材センター その他：県内大学(再掲)、公民館
育児・介護	県：関連部局(本庁関連課)、ファミリー・サポートセンター、 介護スマイル館、21世紀職業財団(再掲)
広報	テレビ埼玉、NACK5、埼玉新聞

彩の国女性チャレンジ支援事業 年間スケジュール

年 度		平 成 1 6 年 度											
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
彩の国女性 チャレンジ 支援事業	1 団体活動 2 政策能力 活用 4 リーダー 養成 6 事業報告 書の作成		公募募 集開始(彩 の国だよ り) 説明会 開催	一次審 査	公開 2 次) 審査 事務説 明会 契約	← 各事業の実施 →						事業報 告・精算	事業報 告書の作 成
	3 地域連絡 協議会	準備会 メンバー からの意 見聴取(3 月中)	準備会 発足 (第1回)	プロジ ェクトチ ーム(P T)の立 ち上げ(5 チャレンジ ジ情報)	PTの 立ち上 げ(1, 2, 3 公募事 業) 地域連 絡協議会 開催 (第2回)	← 上記との事業連携 →						地域連 絡協議会 開催 (第3回)	
	5 I T 環境 整備	業者選 定		契約 第1回	← イベントカレンダー作成 →			第2回	← イベントカレンダーの運営 →			第3回	ポスタ ー作成・ P R

事業内容及び事業計画の概要

1 目的

男女、とりわけ女性が個性と能力を十分に発揮しえない現状を踏まえ、女性の新しい発想や多様な能力を活かせるよう、様々な分野への生涯を通じた女性のチャレンジを支援することを目的とする。

2 必要性

- (1) 本県では、分野別及び職種別における女性進出の比率が低く、また、女性の労働力率が出産・子育て期に大きく低下する傾向が見られる。そこで、女性への積極的格差是正措置を実施し、意欲と能力のある女性が様々な分野へチャレンジするための支援を行う必要がある。
- (2) この事業を With You さいたまを中心に行うことで、With You さいたまの在り方を、従来の「自主事業実施型センター」から「利用者自立支援型センター」へ転換し、県民参画を促進させ、活力あるセンターへ移行させる必要がある。

3 実施内容

(1) 女性団体活動の支援

目的：女性が社会の多様な分野でチャレンジするための先駆的な活動を実施している女性団体等に事業提案を求める。このことにより、女性活動団体の育成・支援を図る。

方法：事業案の募集（オリエンテーション）・第1次審査（書面審査）・第2次審査（プレゼンテーション）・事務説明会を経て、2団体に事業委託。事業実施後には、団体から報告書を提出してもらう。

事業例：母子家庭の母親に対する職業能力開発事業
県内のチャレンジする女性達を紹介する事例集の作成
女子学生・女子生徒へのチャレンジ支援 など

予算額：738千円（委託額300千円×2団体を含む）

(2) 女性の政策能力活用事業

目的：個人・少人数グループ等が有しているチャレンジ支援事業として啓発効果の高い事業企画を With You さいたまと協働して事業化し、女性の政策・企画等の能力開発を支援するとともに、県民主体の事業展開を図る。

方法：事業企画の募集（オリエンテーション）・第1次審査（書面審査）・第2次審査（プレゼンテーション）・事務説明会を経て、With You さいたまとの共催事業とする。（5事業について、5回講座を組む）

内容：会場使用料、講師料、広報費の一部の補助、With You さいたま 広報紙、HPへの掲載。事業実施後に、団体から報告書を提出してもらう。

予算額：1,003千円

(3) 地域連絡協議会の設置

目 的：女性のチャレンジ支援を推進する地域ネットワーク構築のため、With You さいたまを拠点に、雇用や福祉、産業など複数のチャレンジ支援関連機関等で構成されるチャレンジ支援地域連絡協議会を設置し、各種チャレンジ支援事業の企画・立案及びその実践を行う。

内 容：協議会を3回開催（準備会1回を含む）。女性が新たにチャレンジする際に必要となる職業支援、生涯学習、ボランティア・NPO活動、仕事と家庭の両立支援等を総合的に情報を提供し、ワンストップ化を構築する。また、事業ごとにプロジェクトチームを立ち上げ、アドバイザーとともに事業の企画・立案及びその実践を通して、女性の様々な能力開発を行う。

予算額：486千円

(4) 女性のチャレンジ・リーダー養成

目 的：地域や職場等において男女共同参画を推進するための様々な実践活動に必要な、マネジメントや広報など具体的なノウハウを提供できるリーダーを養成し、人材を育成する。

方 法：養成講座は、女性団体等からの企画提案方式を採用する。団体の募集(オリエンテーション)・第1次審査(書面審査)・第2次審査(プレゼンテーション)・事務説明会を経て、1団体に事業の企画・立案・運営を委託する。団体が実施することで、女性の能力を高める。

予算額：638千円(委託額：500千円×1団体)

(5) 「チャレンジ・ネットワーク」構築のためのIT環境整備

目 的：地域情報や女性のチャレンジ支援に関する総合情報を収集・活用するため、With You さいたまのホームページのシステムを変更する。

内 容：チャレンジ支援地域連絡協議会の下部組織として、プロジェクトチームを設け、企画の段階からイベントカレンダーの制作について3回検討する。また、必要な情報については、SEに委託して、掲載情報の随時更新を図る。システム完成後には、ポスター等を作成し、デパートやスーパーマーケット、公民館などで広報する。

・イベントカレンダー女性チャレンジ支援に関する情報提供

・開催月別にイベントを表示するイベントカレンダー

・キーワードにより希望する情報を探せる検索エンジンの設定

予算額：3,776千円

(6) 彩の国女性チャレンジ支援事業 報告書の制作

目 的：彩の国女性チャレンジ支援事業が県内外の自治体のモデル事業となるよう、また、この事業の普及を図るため、平成16年度に実施した事業に関する総合報告書を制作し、各都道府県及び県内各市町村等の関連機関に配布するとともに、次年度に報告会を開催する。

内 容：上記1～5の事業についてまとめ、報告書10,000部を制作する。

予算額：336千円

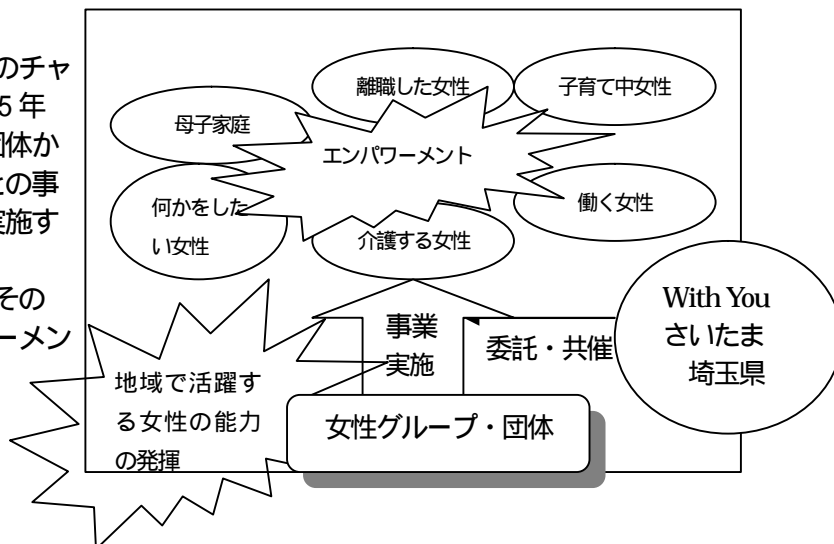
グループ・団体等からの公募事業について

1 概要

(1) 趣旨

地域における男女共同参画社会の実現や「女性のチャレンジ支援策について（男女共同参画会議 平成 15 年 4 月 8 日）」に資する活動をしているグループ・団体から事業を広く公募し、With You さいたま及び県との事業委託や共催事業として、With You さいたままで実施する。

グループ・団体の女性たちの能力発揮とともにその事業を実施することで、図の女性たちのエンパワーメントにつなげていく。



(2) 内容

	女性チャレンジ支援事業		女性のチャレンジ・リーダー養成
	女性の政策能力活用	女性団体活動支援	
対象事業	女性の新しい発想や多様な能力を活かすため、 ・政策・方針決定過程に参画し、活躍することを旨「上」へのチャレンジ ・起業家、研究者・技術者等、従来女性が少なかった分野に新たな活躍の場を広げる「横」へのチャレンジ ・子育てや介護等でいったん就業を中断した女性の「再チャレンジ」 の方向への生涯を通じた多様な女性のチャレンジを支援するような事業が対象		地域で男女共同参画社会の実現を目指すリーダーグループ・団体が持っている女性チャレンジ支援の事業に必要な組織の運営方法、財源獲得の方法、事業の展開の方法などについて学べるプログラムを募集する。 参加者が次のステップにつながるようなサポートのできる団体等が対象。
支援内容	With You さいたまとの共催 講師などの謝礼（謝金）謝金は1回分（17,880円）講座などは5回分（17,880×5回=89,400円）程度とし、自ら負担することを妨げない 会場 原則として With You さいたまとする。 費用は県負担 広報 両者で担当する。	契約形態 委託契約 委託費 1団体あたり 30万円以内（消費税等を含む） 経費区分 ・報償費（講師謝金） ・使用賃借料（会場費） ・管理費（人件費） ・事務費（通信費・消耗品） ・印刷製本費（資料等印刷費） ・消費税	契約形態 委託契約 委託費 50万円以内（消費税等を含む） 経費区分 ・報償費（講師謝金） ・使用賃借料（会場費） ・管理費（人件費） ・事務費（通信費・消耗品） ・印刷製本費（資料等印刷費） ・消費税

	<p>県及びWith You さいたまは、県広報誌、With You さいたま広報誌、チラシ、ポスターで広報する。</p> <p>広報費の一部補助 その他 教材費等の実費は別として、参加者の負担は原則として無料とする。</p>		
団体数	5 団体	2 団体	1 団体
応募者の要件	<p>県内を主たる活動地域として男女共同参画社会の実現に向けた活動を行っている個人・団体などであること (法人格の有無は問わない) 複数の団体による実行委員会形式も可とする。 その他、「埼玉県の後援及び共催に関する事務処理要項」第3条を準用する。</p>	<p>男女共同参画社会の実現に向けた活動を行っている団体等であること(法人格の有無は問わない) 複数の団体による実行委員会形式も可とする。 営利、特定の政党活動、もしくは宗教活動を目的とする団体・グループを除く。</p>	<p>男女共同参画社会の実現に向けた活動を行っている団体等であること(法人格の有無は問わない) 複数の団体による実行委員会形式も可とする。 特定の政党活動、もしくは宗教活動を目的とする団体・グループを除く。 (営利企業も可)</p>

(3) 事業の流れ(案)

